

広報 ほんこく 3/15 1973 No.145

市庁舎のすべて特集号

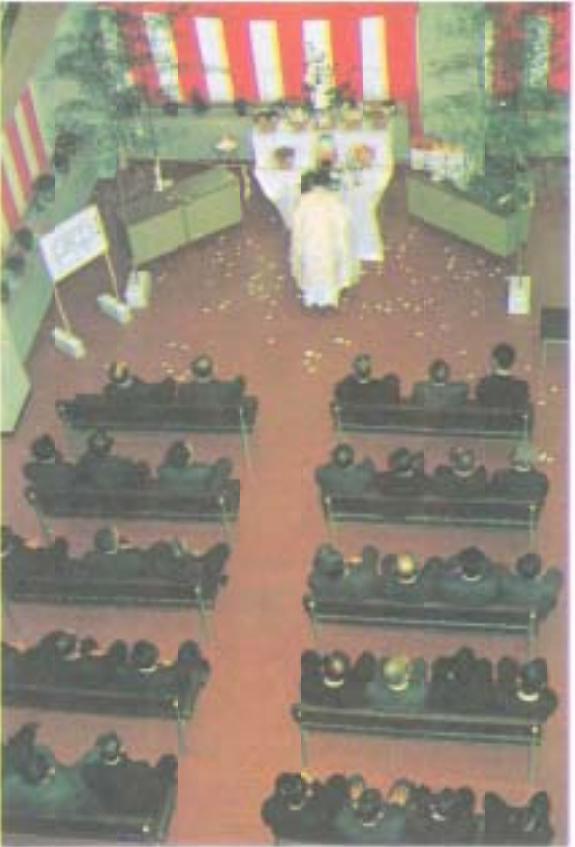




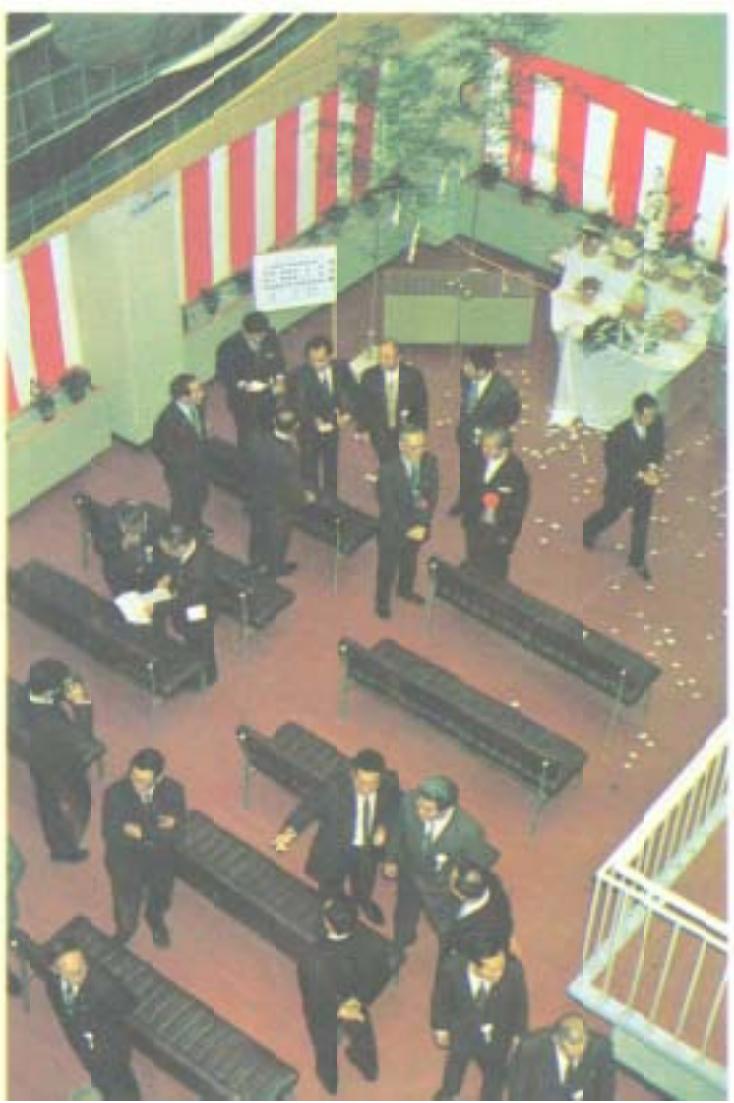
市庁舎落成記念特集号

市庁舎のすべて

- 待望の市庁舎が完成 3
- カラー 神事とモチ投げ 4—5
- さあー、スタートだーっ 6—7
- カラー 市庁舎と長尾鶲 8
- 工事のあらまし 9
- こんなにしてできた庁舎 10—11
- アイディアがいっぱい 12
- あなたのご用は、この階で 13—15
- マンガと1万円クイズ 16
- カラー 岩沼市と姉妹都市 17
- 写真コンテスト・伸びゆく南国市 18—19
- カラー 南国市民憲章 20—21
- サヨウナラ旧庁舎 22—23



市・市議会・工事関係者らで、落成の神事がおこなわれた。——一層の市民ホールで。



神事が終って一層つゝ金堂市長（上方の右、赤いリボン）と戸田建設・世藤（島田信義が印象的だ）



そろいのハッピ姿の市連合青年団員たちがモチを積んだ大八車を引いて入場。新しい門出を祝ってモチ掛けが行なわれた。



待望の市庁舎が完成

総事業費5億5千万円

市民待望の市庁舎は、1年かかりの工事で47年12月に竣工、同24日に落成式が行なわれました。

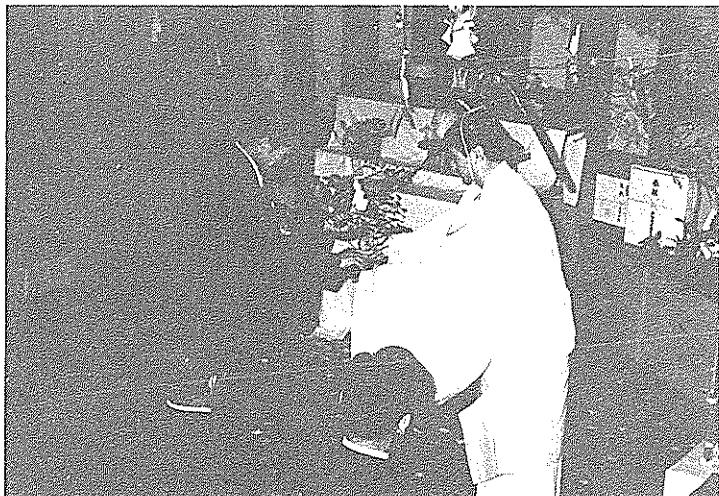
旧市舎は第二次大戦中に建築された旧県地方事務所で、老朽化が甚しく、そのうえ年ごとに行政需要が多くなり手狭になっていました。

そこで、人口6～65,000人を想定。総事業費、約5億5千万円（建設工事費4億4,503万円、備品費1,524万円、用地費9,571万円）で、鉄筋コンクリート、地下1階地上5階建て、延べ面積6,200平方㍍の近代的な建設となりかかっていました。

落成式典は、午前11時から市長ら市関係者、議員、工事関係者らの出席で神事がおこそなにとり行なわれました。つづいて落成式は午後1時から溝淵県知事、坂本高知市長の隣接の市町村長、遠く宮城県から姉妹都市の古内・岩沼市長、それに市民の代表ら約300人が出席して盛大に行なわれました。

まず、工事の経過報告のあと、金堂市長が「旧市舎は手狭で市民に不便をかけていた。國・県をはじめ多くの人たちの協力で立派に完成した。市民センターとして名実ともに充実したものとしたい」と、あいさつ。市の発展、飛躍を願って、六ヶ条の市民憲章が宣誓されました。つづいて建設に功績のあった人たちは感謝状、市制発足以来の市議、25年以上勤続の市職員に表彰状を贈呈。知事ら来賓の祝辞があつて式を終りました。

このあと、市連合青年団が大八車にモチを積み込んで入場。溝淵知事、金堂市長もモチ投げに参加。かけてけたたくさんの中民とともに新しい門出を祝いあいました。



■写真上・市民ホールでの神事
■中の左・祝盃をあげる溝淵県知事と来賓の人たち
■中の右・「このサバのすしはうまい」古内・岩沼市長（右）と大内同市副議長談笑する坂本高知市長（左）と利岡教育長

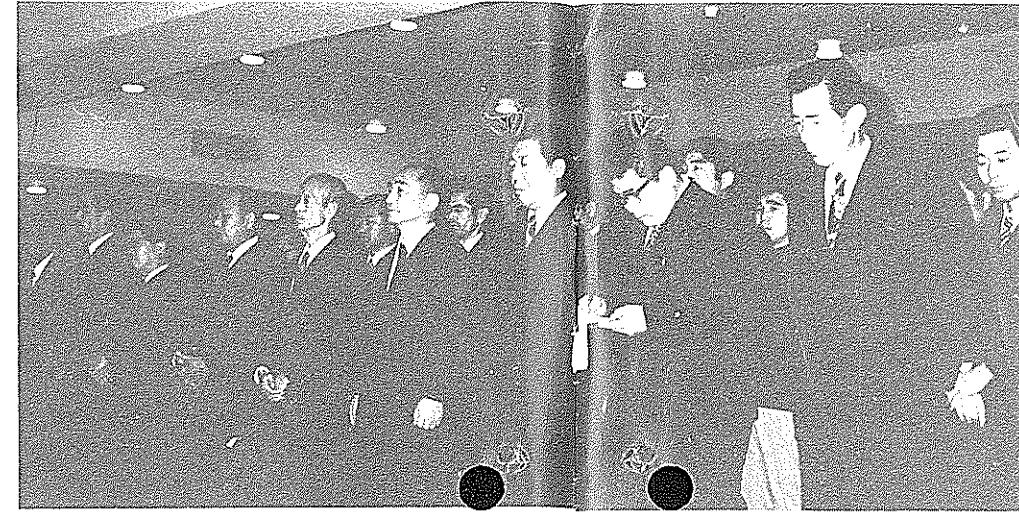
さあー、スタートだーッ



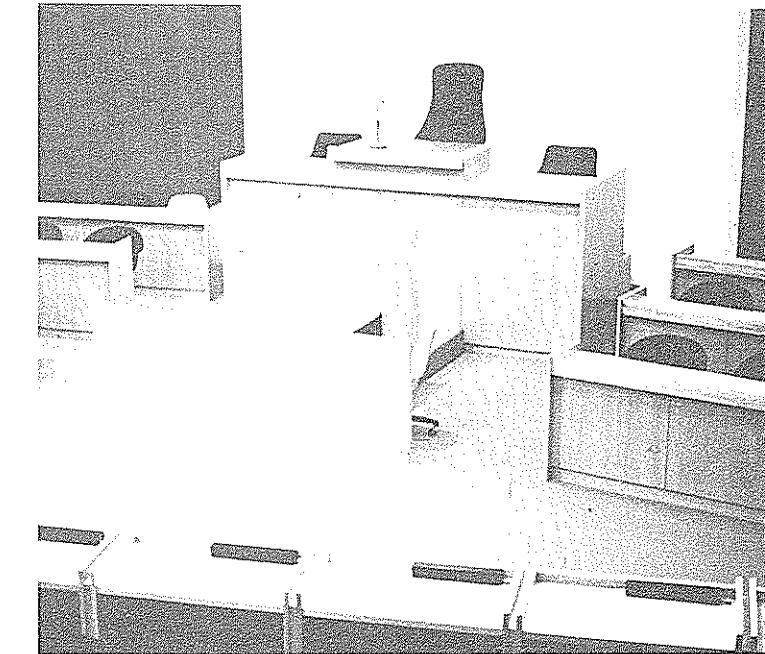
写真右=市民課の窓口は、ご用始めの最前線折詰とお酒を横目に、来客でテンテコ舞いだ。



写真左=元気でがんばろう。新春のまちに健康をふりまき走りぞめ



写真上=1月4日はご用始め、助役ら市幹部を前に恒例の市長訓示



写真右=「いい加減な質問もできんぞ」じゅうたんを敷きつめた議場は選良の来場を待っている。



さあ、今日から俺たちの職場だ。事務室では、最初で最後の酒宴をはって、明日からの元気づけー。

“雨が降ったら台帳が泣く。老朽しきった旧庁舎から、モダンな新庁舎にヘンシー。”

1月4日は、ご用始め。まずは「健康で明るい南国市を……」と市長・助役を先頭に新春のまちに健康をふりまいて“走りぞめ。”

さあー、スタートだーッ

一汗かいたところで恒例のご用始め式典。新装なった4階会議室に『全員集合』した職員たちも緊張した面持ち。ビーンと張りつめた会場で市長の訓示。

庁舎の落成にあたって一通り職員の自覚と責任をうながしたあと『全職員が市民に奉仕する、公務員の原点に立ち、エリをただして対処してほしい。市民をこちらから追いかけてサービスする姿勢で全力を尽して活躍されたい』と、市民サービスを強調しました。

新庁舎には庁内会議室やペーパーサークルなど、お役所らしからぬアイディアもありますが、プロジェクトチームを編成して、市民の側に立った機構改革や事務の改善につとめています。



▲南国市を象徴する長尾鶏の大壁画。高須義（しがらきゆき）にて観迎枚（180平方㍍）の面積があり国内の壁画では日本一の大きさ。1階から3階まで吹き抜いた最大なもの。壁画は日本画家、田淵耕作氏。工事費：560万円。

▼南国市庁舎・市のシンボルマーク“チ”を組み込んだユニークな建物。鉄筋コンクリート造り、地下1階、地上5階。敷地面積5,405平方㍍、床面積6,200平方㍍。着工時完備。総事業費5億5千万円。着下の市民ホールの完成だ。

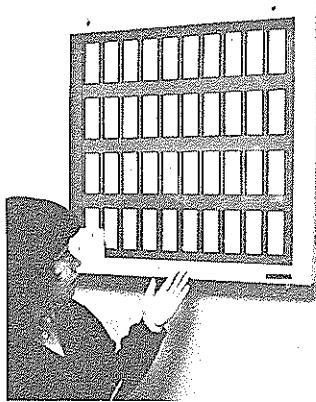




市民体育館の 4.4倍	キリンの体長の 4.4倍	アフリカぞうの 76頭分	大型ミキサーで 750台分	2DKの一般住宅 198戸分
(1,400 m ²)	(頭まで 6 m)	(7 トン)	(大型 6 m ³)	(15坪 225 万円)
床面積 6,200 m²	高さ 26.1 m	鉄筋の量 530 トン	コンクリートの量 4,500 m³	総工事費 4億4503万円

■アイディアがいっぱい

“お客様は神様でございます。新市舎には市民の側にたったアイディアがいっぱい。名実ともに市民ホールとして活用してもらおうと、施設の整備、機構改革にとりくんでいる。



“今日は市長はおるかのうし。各階のホールには、市長ら市幹部の不在・在室が一目でわかる仕掛け



市民ホールは“お花畠、お役所にしては心にくいペーパーサークルに若いお母さんも“にくいんだわあ。



“いらっしゃいませ。若い女性と課長・係長が市内の案内や市民相談にとサービス。

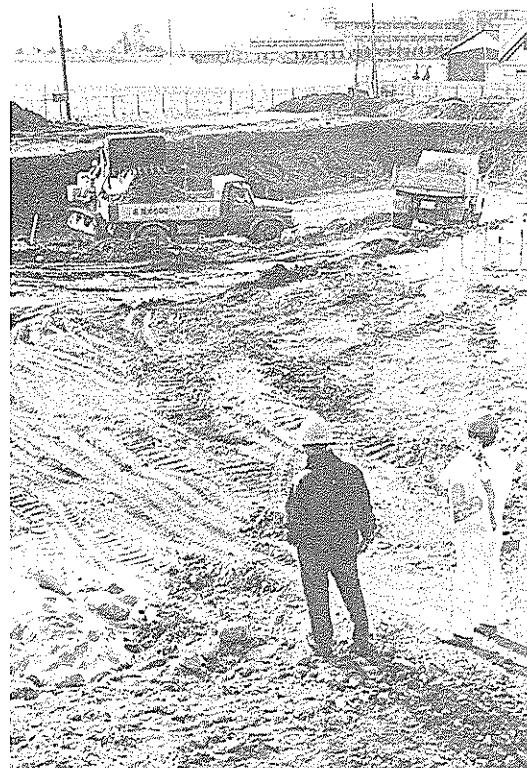


交通地獄を下にみて駐車場から2階へ。とりつきには食堂・売店も

こんなにしてできた庁舎



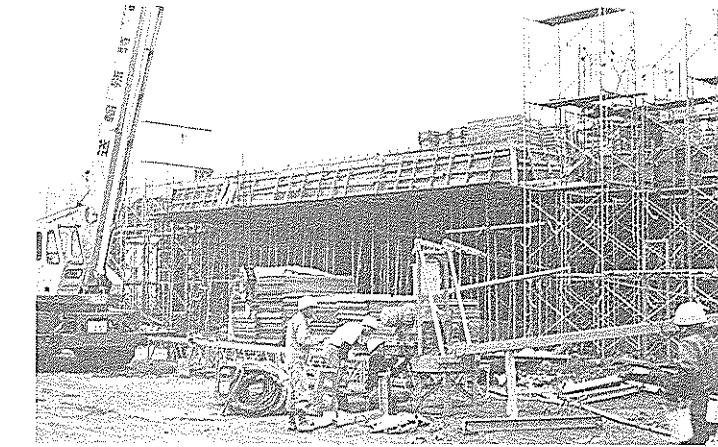
46年1月8日、起工式が行なわれ、いよいよ工事がはじまる



ブルトーザーの音も心よく、地階基礎部分の根切り（床堀り）

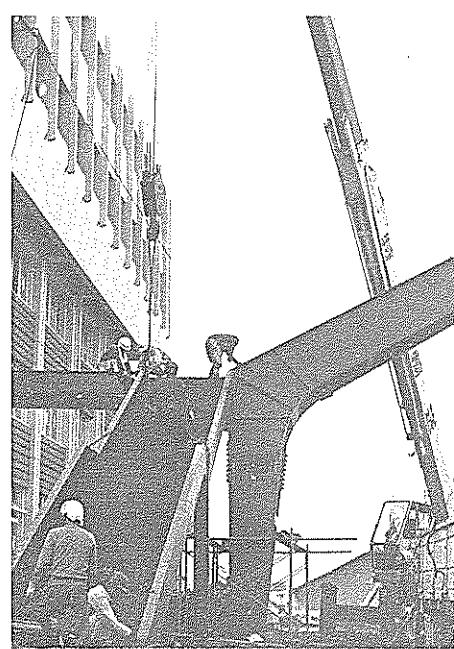


地上から屋上まで、ポンプ車でコンクリートが運ばれ、コンクリート打ちをする。

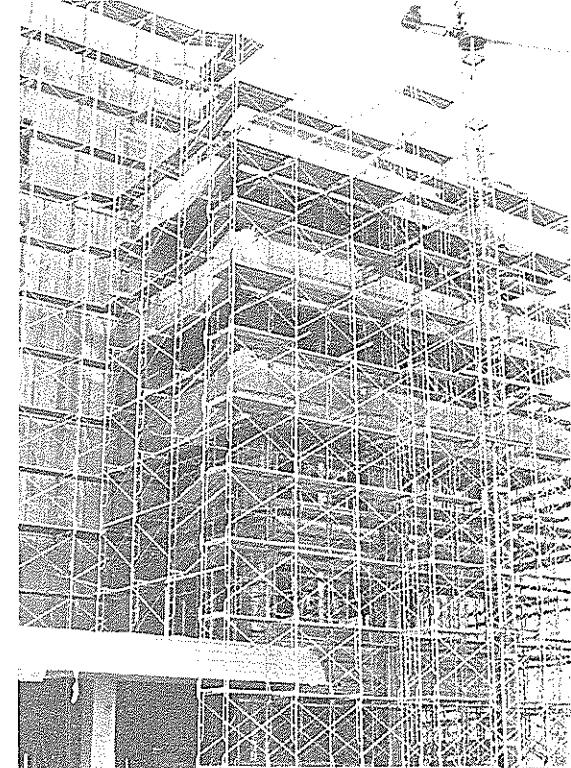


1階正面の玄関部分で、型ワクの立組み

46年6月8日、庁舎建設委員会は、旧庁舎南側を建設地に選定。面積5,485平方メートル（5反5畝9歩）を9,571万円で購入する。



庁舎2階から旧庁舎跡の駐車場まで、電車軌道の上（下部）を飛びこえ、幅1.5倍長さ36%のオーバーブリッジ（陸橋）がつく



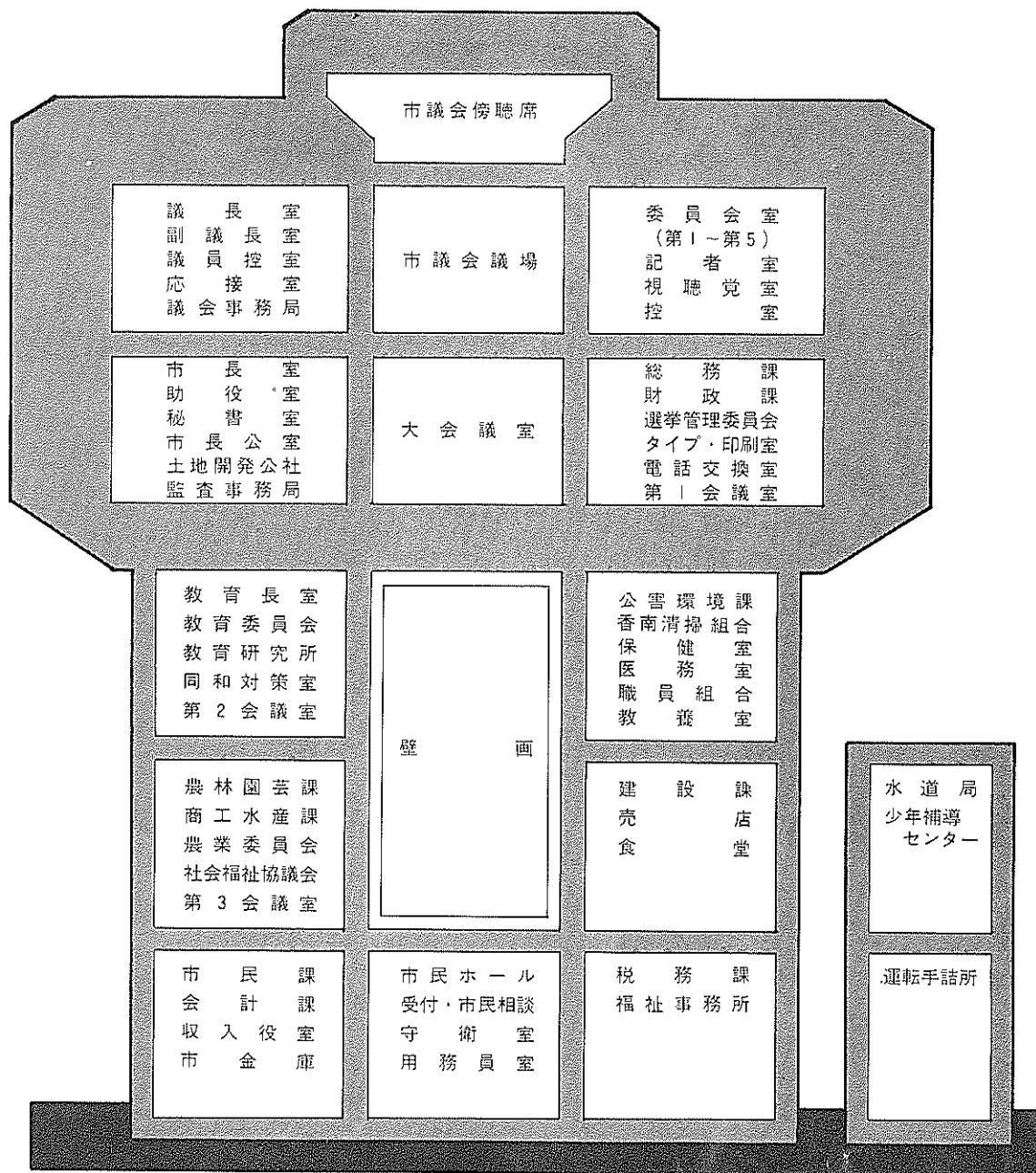
地下1階、地上5階の堂々とした庁舎が出現。コンクリート打ちを終る。

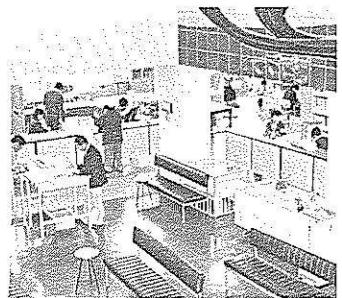


吉野川の自然石に、金堂市長の白筆で“南国市守”と刻まれる

■ようこそ市役所へ

あなたののご用は、この階で





1階

- ▼受付……市内の案内、苦情相談
- ▼会計課……公金の収入・支出、物品納入の資格審査申請
- ▼市金庫……公金の収入・支出
- ▼市民課……出生・死亡・転入・転出、世帯主変更・世帯分離合併、婚姻・離婚などの届出、戸籍謄本・抄本の請求、住民票の世帯全員のうつしや個人のうつしの請求、印鑑の登録や廃止届・印鑑登録証明、米穀通帳の申請外人登録、埋火葬の許可申請、出生児祝金、

《次の地区は支所で》

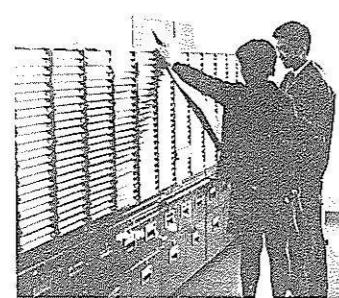
- 十市支所（十市）三和支所（三和・播生・前浜）領石支所（上倉・瓶岩・久礼川）岡豊支所（岡豊）

国民健康保険の資格・喪失届、国保税の課税・減免申請、国保加入者の助産費・葬祭費の請求療養費の請求、第三者の行為および業務上受けた傷害届、巡回診療（黒滝・中の川）

国民年金手帳の住所・印鑑変更届、国民年金への加入と喪失届、福祉年金・国民年金の給付請求、保険料の納付・減免申請

▼税務課……市（県）民税・固定資産税などの申告や課税・減免と免除申請、新築家屋や償却資産の申告・評価、軽自動車の登録と廃車届、自動車臨時運行の許可申請、各種の証明、台帳閲覧および縦覧、市税の納税・分割納付と徴収猶予申請

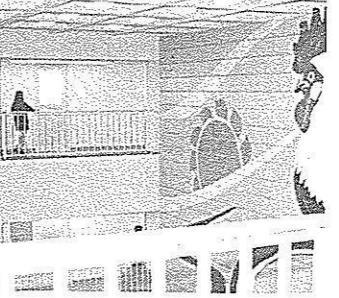
▼福祉事務所……生活保護の申請保育所への入所申請、老人ホームへの入所申請、身体障害者施



2階

- ▼建設課……市道認定および私設道路敷の寄附申込み、境界明示の申請、道路の占用・掘削許可申請、水路占用申請、道路認定証明、建築確認申請、開発許可申請、土地の先買い制度の申請、日雇健康保険への加入、喪失届

▼農林園芸課……農林業に関する相談、農業振興地域の変更申請、土地地改良区役員の資格証明、農道・水路の用途廃止・付替えに



3階

- ともなう意見書、農用地の地積訂正にともなう意見書、耕作転換（休耕・転作）の実施申請、老人年金の申請、老人福祉資金など制度資金の貸付（農協組合）
- ▼商工水産課……商工水産・観光に関する相談、金融相談、消費生活相談、漁家小口資金の貸付

- ▼農業委員会……農地の3条（売買・贈与・交換・賃貸借・使用貸借）の申請、農地の4条・5条（転用）の申請と届出、農地の20条の賃貸借の解約などの申請、農地取得・維持資金の貸付申請、災害資金（農作物）の貸付、農地などの利用関係についての和解の調停、農地の取得・譲渡のあっせん・耕作証明

- ▼社会福祉協議会……交通事故人権擁護・心配ごと・行政・法律の各種相談、世帯更生資金の貸付申請、生活資金の小口貸付ホームヘルパー派遣の申込み、老人の就職あっせん、善意銀行への寄附受付、募金その他義えん金品の受付、老人クラブ・傷痍軍人会・手をつなぐ親の会への連絡

- ▼家庭児童相談室……ちえおくれし体不自由、非行その他問題のある児童や家庭全般の相談
- ▼議会事務局……請願書や陳情書・嘆願書・要望書の提出、市議会の傍聴の申出、市議会会議録の閲覧請求



4階

- ▼秘書室……市長・助役の秘書、陳情・要望などの処理、市民賞の候補者募集
- ▼市長公室……災害時の通報（災害対策本部）統計資料の閲覧、広報なんこくの原稿（市民の声・課長対話・文芸作品など）募集（毎月10日・25日〆めきり）
- ▼総務課……市職員の採用、自衛官の募集、地区連絡員の氏名・戸数などの変更届
- ▼財政課……工事指名願の申請、防犯灯の設置費補助の申請、市営住宅の入居・退居申請、市営住宅使用料の徴収
- ▼開発公社……公共用地の先行取得と用地交渉
- ▼監査事務局……市民の監査請求
- ▼選挙管理委員会……選挙人名簿への登録と投票、不在者投票の申出



別館

- ▼少年補導センター……少年の非行や教育相談、街頭補導、子供会の結成届、テントの貸付、補導センターだより「わかば」の原稿募集、
- ▼水道局……給水装置（新設・増設・改造・変更・撤去）工事申請（指定業者経由・給止と再給水は市へ申請）水道使用料と検針、口座振替の届、水道に関する苦情や相談



【電話】

市役所（本庁）	代表 3-2111
議会事務局（専用）	4-3284
消防署	3-3511
体育館・中央公民館	4-3498
後免町公民館	4-2880
中央福祉館	4-3220
南部福祉館	5-8285
岡豊支所	4-2423
領石支所	2-0020
十市支所	5-8401
三和支所	5-8332

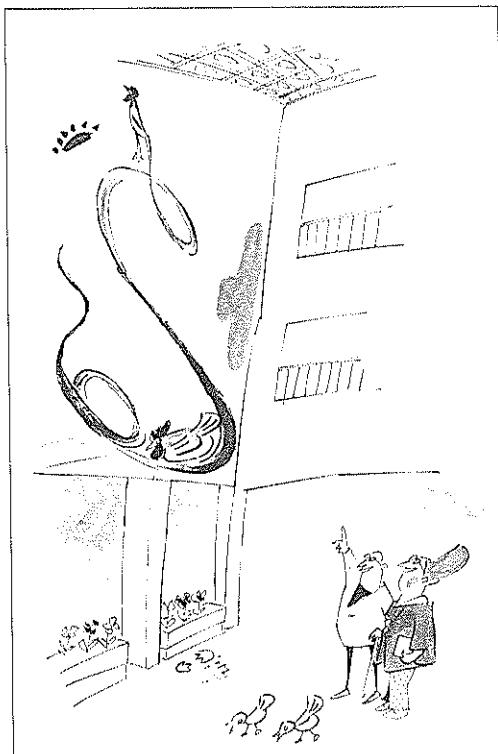
【注】4月1日から一部の課などの統一廃合・事務分掌がかかる予定です。現在のところ市長公室と財政課の財政係を統合し企画財政課、総務課と財政課の管財係を統合して管理課などの計画があります。



「ありや、オマンも南国市かヨ」

植田・古谷栄幸

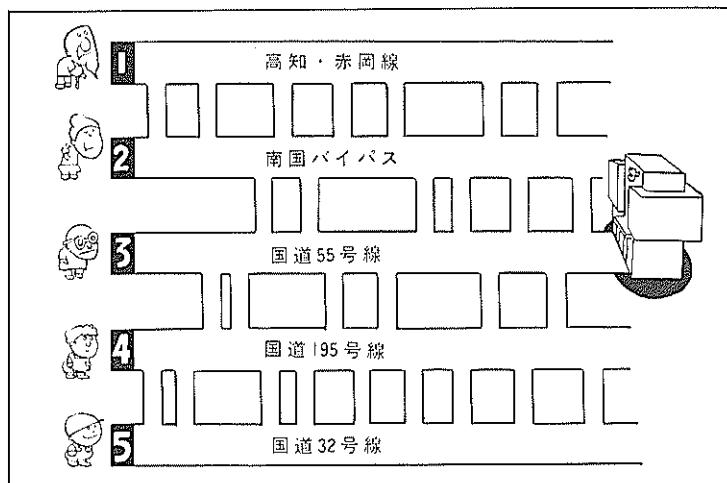
マンガでおめでとう



南国市の春

壁でヌクメヨルとは聞いたが生まれたの…

東金地・岩本武雄



あなたもクイズをやってみませんか。今月は市役所の落成記念です。賞金1万円と記念品を送ることにしました。

【もんだい】

5人の人がそれぞれ市役所へ転入届をするためでかけました。国道、県道から道がわかれています。

るところでは、一番近いところを右または左にまがってすすんでください。

さて、さて、市役所について転入届を出すことのできた人は何番の人でしょう。

▼しめきり・3月31日(土) ▼おくりさき・南国市大坪、南国市役

親子クイズ

1万円

⑯

所内、広報委員会、親子クイズ係
▼しょうひん・1万円、正解者が
多数のときは10人までのときは1
万円を等分に、10人以上のときは
抽せんで10人に千円を送ります。

また、応募者のなかから20人に
は記念品を送ります。

★特賞に新階彰博くん(大塙)

第17回の正解者発表

▼特賞 2,000円 新階彰博(大塙)
残念賞 記念品 島村きよ(久
枝西) 村上静(小蓮) 川上裕(十
市) 杉本由香(大塙) 中沢浩(定
林寺) 中沢百香(浜牧田) 藤原健
治(東崎) 浜地美智(下島) 小松
正(十市) 阿部たけし(下野田)

岩沼市（宮城）と姉妹都市



市は宮城県の岩沼市との姉妹都市の締結式をしました。ともに県都に近い宮城県であります。岩沼市からアロボースがあり、市は3月市議会にはかって正式に締結式の調印をしたものです。今後は産業・経済・教育文化などの交流を深めていこうと強く握手をされました。

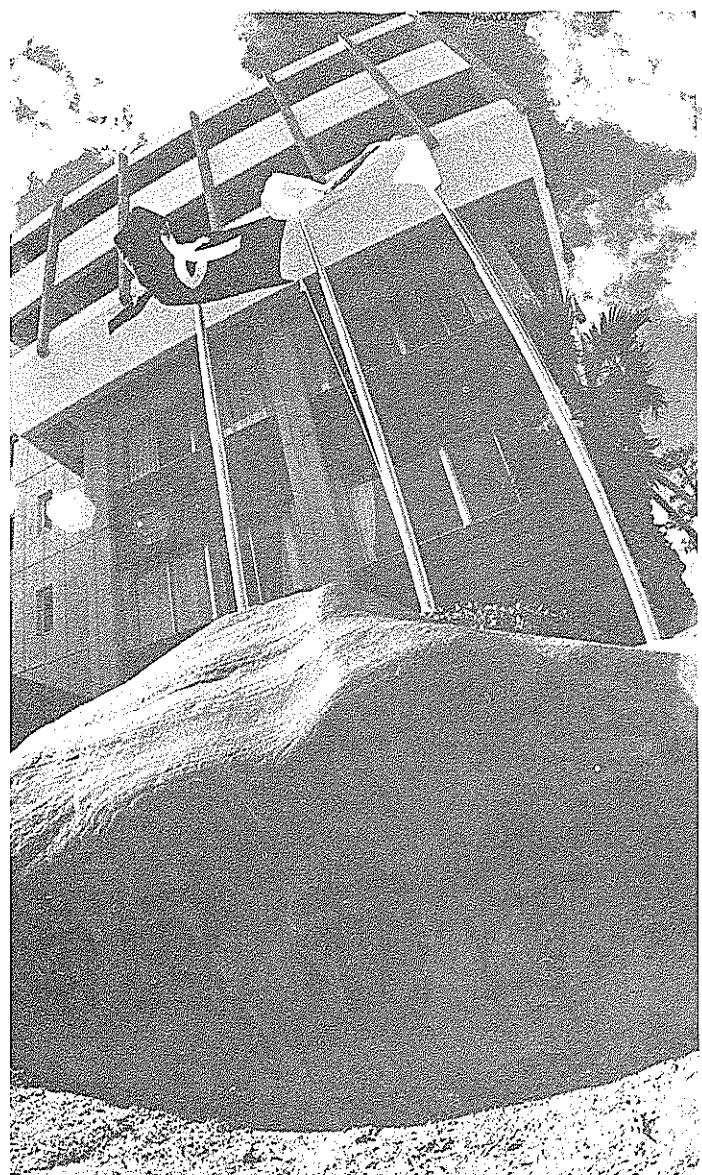
岩沼市は、宮城県の県都。仙台市の南に7.6km。むかし、伊達政宗の家臣が居城がおかね。伊達藩の南の守護として重要な地勢をしめた。面積は奥州街道に通じ、古くから春日町や竹内神社の門前町として栄え、また馬鹿の町としても有名。市の南端は阿武隈川が流れ、豊かな水は大量企業の活発な進出をもたらす。活気あふれる産業都市。元は名取郡岩沼町で、昭和46年1月1日市制施行、人口3万1千人。空の玄関道仙台港と新産業都市の仙台湾地区として、今後ますます発展が期待されている。活気あふれるフレッシュな町です。



おめでとう。よろしく。市長
舍落城にかけつけてくれた吉内市
長（中央）大内副議長（左）と和
氣会々の通機助役（右）



日本三大稻荷の一つ。竹内神社に祈願してさ
たお札とみせ、婦人会の面々に沿介する市長



写真コンテスト

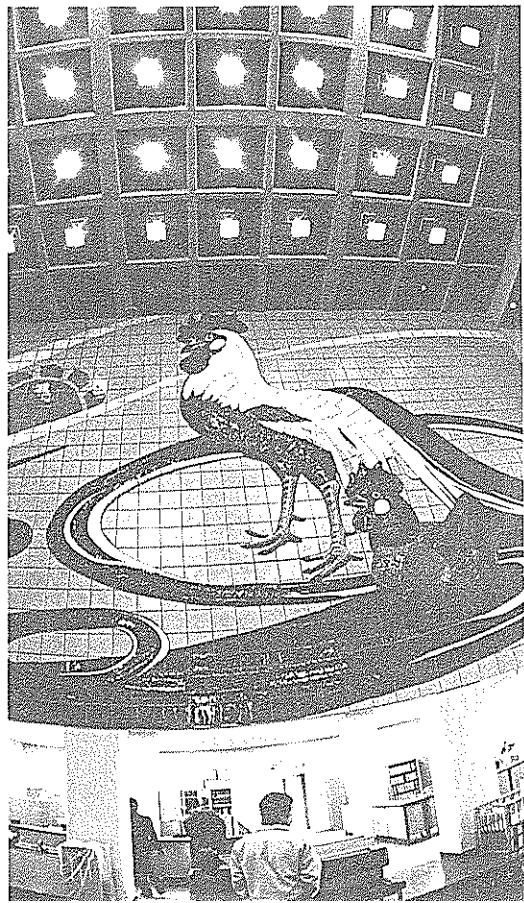
三枚組 写 真 伸びゆく

市長賞

1万円

岡本守正(大塩)

ダム建設で移転を余儀なくされた南国市に出てきて、はや4年になる。応募のため市内を廻ってみて改めて、その広いことに驚くとともにいたる所で大小の工場、住宅などの建築されるを見て、そのツチ音に新生南国市の若々しい息吹を感じた。なんといっても最近のビッグニュースは新市役所の落成他市に恥じない立派な市役所。なかでも、その様面をかざる長尾鶲は伸びゆく南国市を象徴して余りあり、訪れる人の目を楽しませている。昨年、新聞を賑わせた公害問題、県の空の玄関口としての空港拡張問題など、円満な解決をみて更に伸びゆく南国市の明日を期待する市民の一人である。



南国市

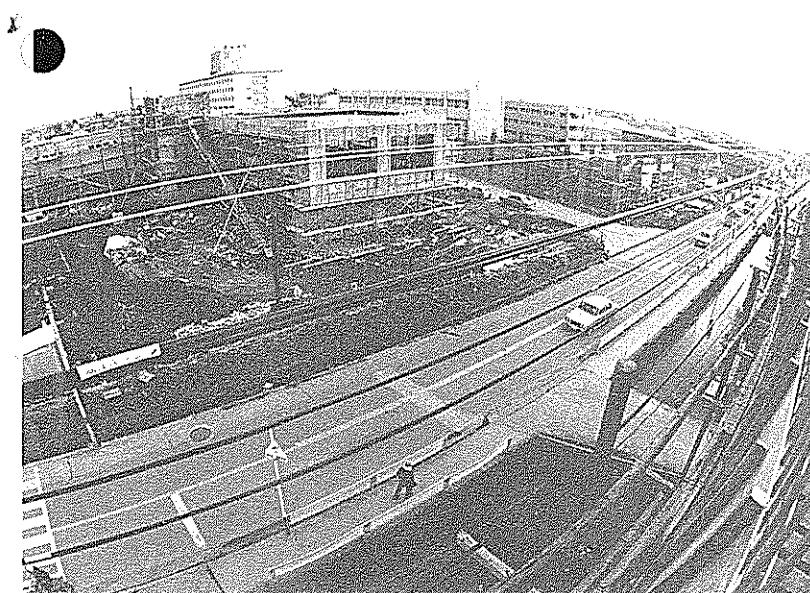
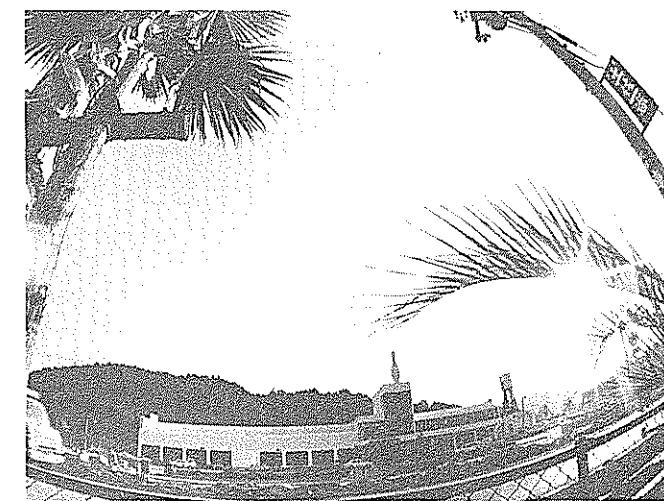
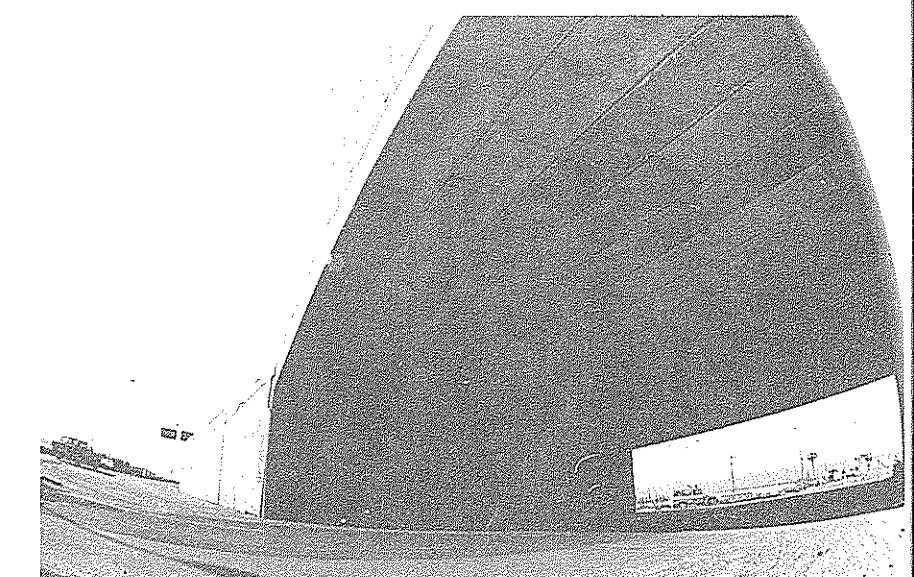
市役所の落成を記念して“伸びゆく南国市”を象徴する組写真を募集しました。

テーマの“伸びゆく南国市”が抽象的なため、三枚の組写真はまとめるのに大変苦労されたようです。

市は、写真の爱好者も多く、写真技術も大変すぐれているといわれていますが、応募者の少なかったことは残念です。

しかし、応募された作品は、いずれも見ごたえのある作品で、特殊な魚眼レンズを使って造形的な魅力を出すなど、苦労のあとがうかがえます。

田内文夫氏(大塩・45歳・商業)の「建設ラッシュがついでいる旧農業試験場跡」の写真など活気あふれる市の姿をみるとようす。三枚組写真ということで、個々には良い作品もありましたが、全体的に“伸びゆく南国市”を象徴するものとして、岡本守正氏(大塩40歳・調理士)の作品が市長賞に選ばれました。



特選 5千円

田内文夫(大塩)

市の発展する姿を三枚の写真にまとめてみました。

その①は旧試験場跡に新しく官庁街として生まれようとして行くビルの建設風景(写真下)を撮ってみました。②南国市の表玄関ともいべき高知空港にも繋ぐ立体橋を強調してみました。(写真上)③南国ハイバスに面したスポーツセンターの一つにレンズの目をむけて南国情緒を表現しました。(写真中)



■南国市民憲章

私は、市長会の議論を機会に、市民生活のモットーである「南国市民憲章」を制定しました。

これは、広く市民から憲章の原文を募集し、利岡教育長が添削、市議会の議員総会にはまって正式に考めたものです。

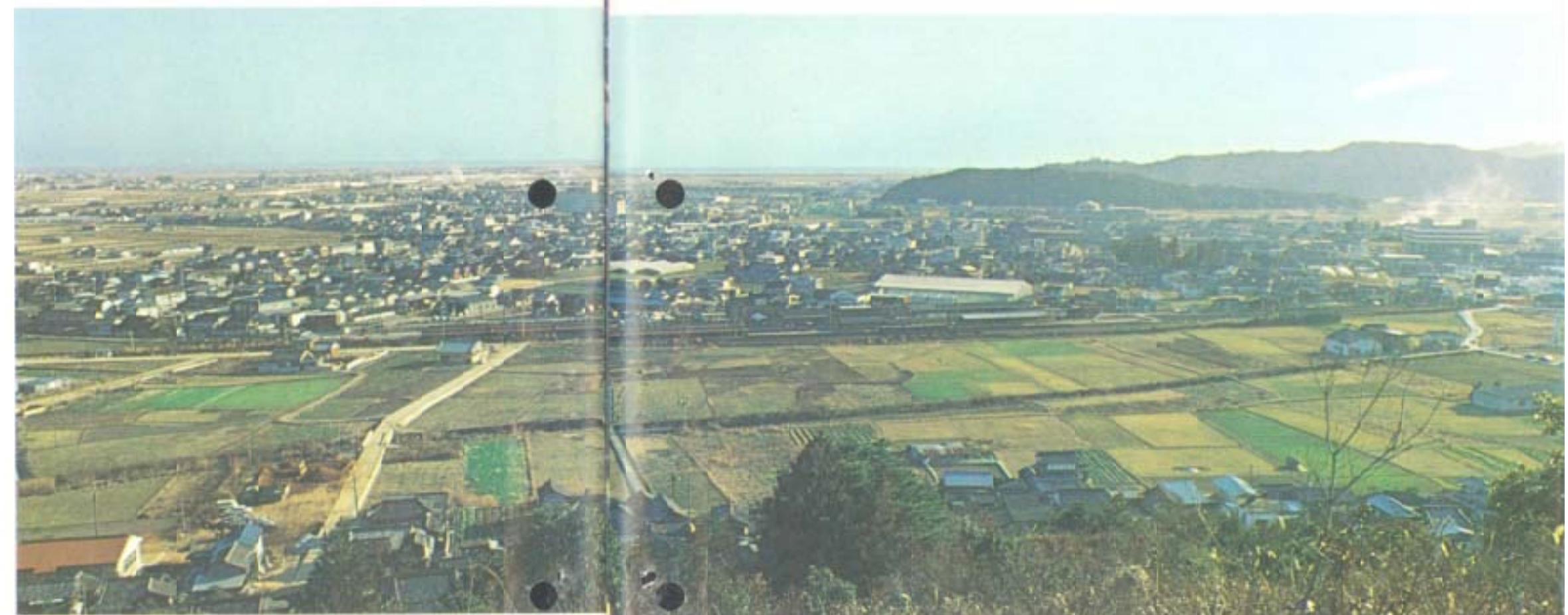
集成立式では、金室市長が「市民の自治と自律のさだめとして、市民が行政と一緒に進む新しいまちづくりの運時にまで進めていきたい」と、力強い第一歩を踏みだしました。

市民憲章は、一般には市民生活のモットーや道徳規範を定めて、「お互いに守っていこう」というもので、わが国に市憲章が制定されるようになって20年あまり、現在では、全国300あまりの市町村に制定され、ますます多くなっています。

これは、物質的には豊かになつた生活のなかで、もっと人間味のある生活をしたい。自分をとりよく「近隣社会」の生活環境を充実したものにしてみたいという市民自らの願いがあらわれています。

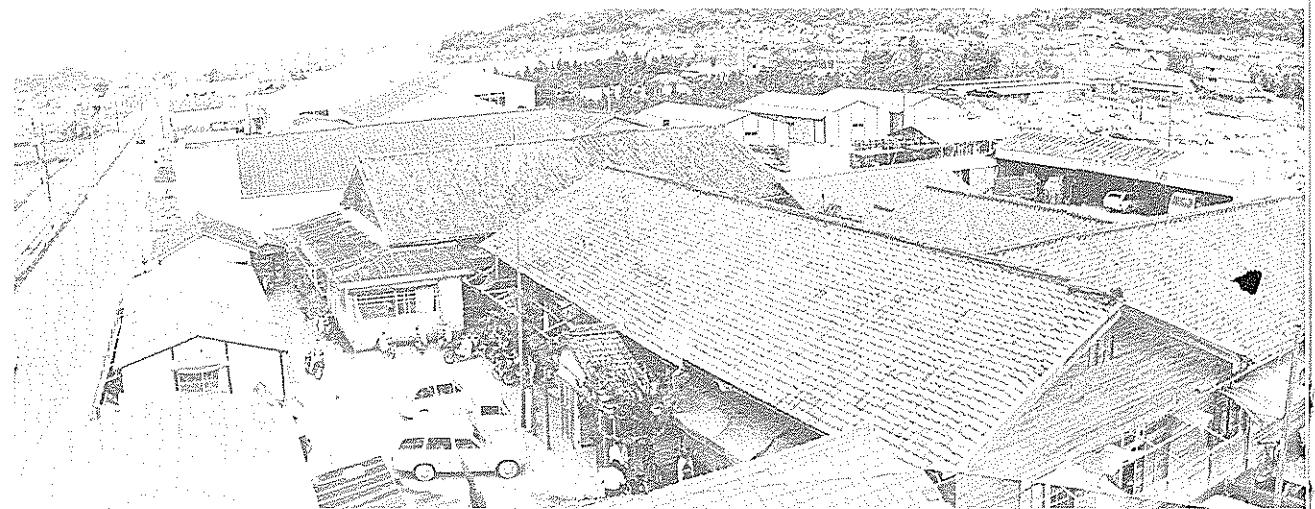
「広島なんなく」でも、市民憲章を一ヶ月ごとにキビシペーンとしてとりあげ、市民とともに明かるく美しいまちづくりに努めたいと思います。

このまちにひかりを.....

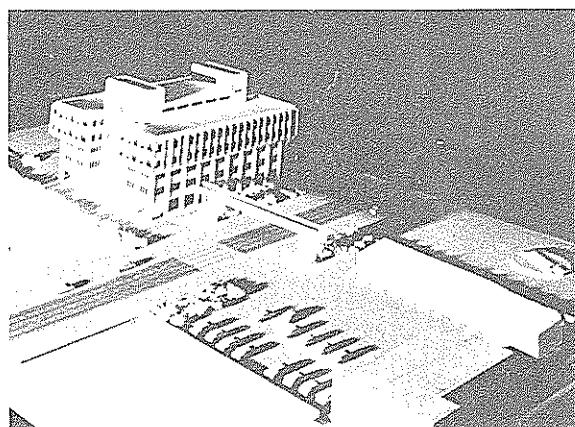


わたしたちの郷土南国市は、土佐文化の発祥地、そしてまた、清新な生産都市でもあります。この誇りのうえにたち、さらに一大飛躍発展をとげるために、次の信条を守りましょう。

- 文化財と自然を保護し、新しい文化のかおり高い歴史のまちを築きましょう。
- 青い空、清い海、緑の山野、そして豊かな太陽のふりそそぐ、健康で明るいまちにしましょう。
- 川は市民の顔、清くて豊かな流れをつくりましょう。
- 第三日曜日は家庭の日、全戸笑顔で子供を守り育てましょう。
- 老人は市民の宝、小さい親切運動と福祉の豊かなまちにいたしましょう。
- 三態を追放し、交通事故のない住みよいまちにいたしましょう。



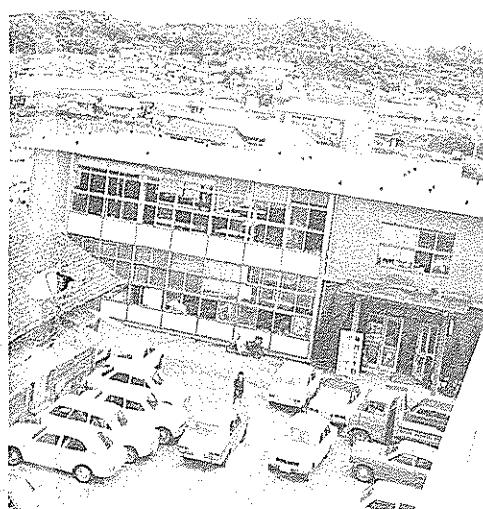
木造の本館に鉄筋あり、フレハブあり、増築・増築を重ねた旧市役所。朝日生命の屋上から西を望む。



旧市役所も鉄筋造り2階建ての会議室をのこしてとりこわされ、駐車場と車庫に変身する日も近い。



〔上〕主のいなくなった屋内。元の税務課
〔左〕すきま風とストーブの熱がチヤンボン
一日中螢光灯をつけて、なお暗い室内、いまはなつかしい思い出となった。元の市民課。



市は、町村合併促進法に基いて、昭和34年10月1日、実質、瀬南15ヶ町村が合併して新興田園都市として発足。

市の中心部である東崎1,355番地の1の旧県地方事務所跡を借り入れて事務所としました。

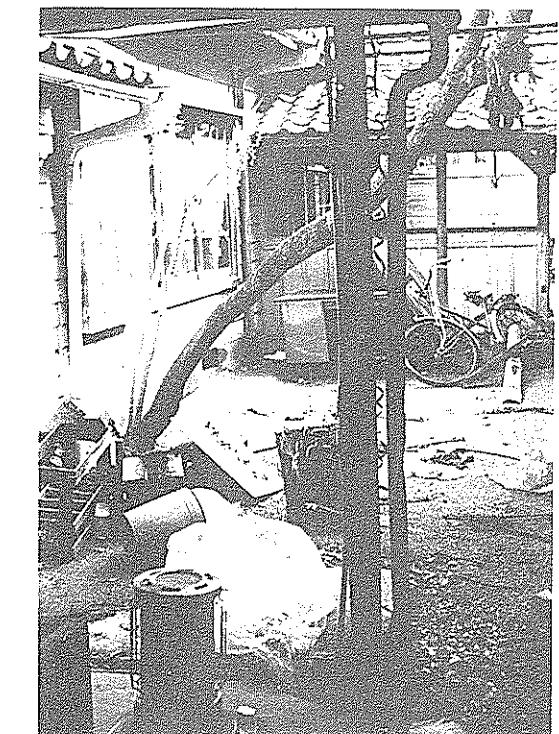
その後、国民健康保険・国民年金など新しい行政事務が激増。合併当時の職員328人も、現在では504人（保母なども含む）にまでふくれあがりました。

このため、事務室も手狭になるばかり、周辺の用地購入や増築・増築を重ね、敷地面積3,051平方メートル（うち県有1,894平方メートル）、建物の延面積1,787平方メートル（うち県有775平方メートル）になりました。が、それでも手狭のため、水道局教育委員会を田野町役場跡に分散

そのうえ、県から借り入れた木造瓦葺き平家建の建物も、第二次大戦中、物資の不自由なとき建築されたもので老朽化がほげしく小修繕では間にあわず、雨もりがするなど“どうにもならん”状態になっていたものです。

こうして四年あまりの歳月、市民センターとして親しまれてきた市役所も、その役目を終り、駐車場に変身する日も、まちがなっています。計画では、鉄筋二階建ての会議室のほかは全部とりこわし整地・舗装、西の端には約1,500万円で車庫がたてられます。

サヨウナラ旧市役所



主のいなくなった市役所、木枯だけが通りぬけていた。



おやすみなさい
また明日……

■企画と発行・南国市広報委員会、南国市役所市長公室内

☎ 08886-3-2111

■取材と構成・市長公室秘書広報係、南国市大浦甲2301

☎ 08886-3-2111

■印刷と製本・川北印刷株式会社、南国市大浦甲1725

☎ 08886-3-3151